



平成 22 年 9 月 22 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ リ ン 堂
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 寺 西 忠 幸
 会 長 兼 社 長
 (コード番号 2660 東証第一部・大証第二部)
 問 合 せ 先 専 務 取 締 役 井 村 登
 (TEL. 06-6394-0039 (代表))

平成 23 年 2 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正
及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 22 年 3 月 31 日の決算発表時に公表しました平成 23 年 2 月期第 2 四半期累計期間(平成 22 年 2 月 16 日～平成 22 年 8 月 15 日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたします。また、当社並びに当社連結子会社において、特別損失を計上する見込みとなりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 当第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正(平成 22 年 2 月 16 日～平成 22 年 8 月 15 日)

①連 結

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 3 月 31 日)	53,000	610	770	90	7.94
今回修正予想 (B)	50,087	241	431	△62	△5.53
増 減 額 (B-A)	△2,912	△368	△338	△152	
増 減 率 (%)	△5.5	△60.4	△43.9	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 2 月期第 2 四半期)	52,911	582	714	△485	△42.86

②個 別

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 3 月 31 日)	48,700	690	860	290	25.59
今回修正予想 (B)	46,624	384	569	124	10.96
増 減 額 (B-A)	△2,075	△305	△290	△165	
増 減 率 (%)	△4.3	△44.3	△33.8	△57.2	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 2 月期第 2 四半期)	48,685	667	834	△167	△14.80

2. 業績予想の修正理由について

①連 結

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）は、「顧客第一主義」の徹底をテーマに、前期後半より、中長期的な成長基盤の確立と企業価値向上に向け、従業員の意識改革を図るための教育、組織・現場・システムの構造改革をスタートさせております。

具体的には、当期から、①店舗力の強化（現場中心のマネジメント体制の確立による営業組織の活性化）、②店舗オペレーションの効率化（徹底したセルフ売場づくりータスクフォース主導によるレイアウト・売場変更による買いやすい売場の実現など）、③販売手法の変更（EDLP化へのシフトなど）を行い、既存店活性化対策に取り組んでおります。

営業に関しましては、ヘルス&ビューティ商品の販売強化に伴う健康食品や調剤部門の売上の伸びはあったものの、花粉の飛散量が前年から減少したことによる季節商材の販売不振や前期の新型インフルエンザ関連特需の反動等の影響で、当第2四半期連結累計期間の売上高は500億87百万円（前回予想比5.5%減）と当初見込みを下回る見通しとなりました。

また利益面におきましても、販売費及び一般管理費は計画を下回ったものの、売上総利益の減少を補うには至りませんでした。

結果、「1. 当第2四半期連結累計期間の業績予想の修正」のとおり、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも前回発表予想を下回る見通しとなりました。

②個 別

個別業績の修正につきましても、主として連結業績と同一の要因によるものであります。

3. 当第2四半期連結累計期間における特別損失の発生及びその主な内容

①連 結

・減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」を適用することに伴い、当社及び当社連結子会社が所有している店舗設備等の一部について減損損失が2億66百万円発生、さらに当社店舗の解約に伴う損失引当金等が40百万円発生する見込みであります。以上により、当第2四半期連結累計期間業績におきましては、3億7百万円を特別損失に計上する見込みであります。

②個 別

・子会社株式評価損について

当社個別業績上、当社連結子会社である(株)ジェイドラッグの株式について、子会社株式評価損として25百万円を特別損失として計上する見込みであります。

なお、連結業績におきましては、子会社株式評価損は連結処理上消去されるため、特別損失への計上はございません。

・当社個別業績におきましても、連結と同様、減損損失等を特別損失として計上する見込みであります。

以上により、当第2四半期累計期間個別業績におきましては、2億88百万円を特別損失に計上する見込みであります。

- (注) 1. 連結・個別の通期業績予想につきましては、現在精査中であります。
2. 当社（連結・個別）は、平成22年9月24日に第2四半期決算短信発表を予定しており、詳細につきましては、決算発表にてご報告させていただきます。
3. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上